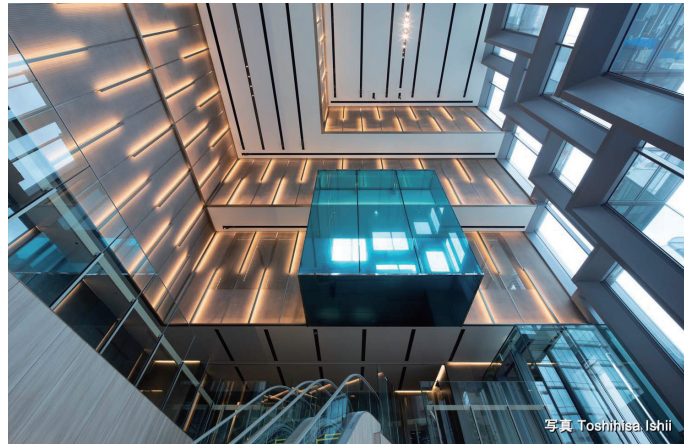


天神ビジネスセンター



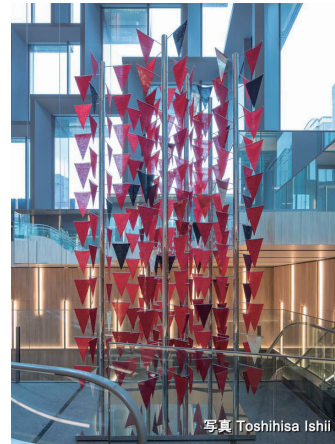
外観

福岡の中心部に建つ「天神ビジネスセンター」は、福岡市の再開発推進事業「天神ビッグバン」第1号案件となる先進オフィスビル。ガラスに覆われた印象的な建築デザインは福岡県出身の世界的建築家、重松象平氏が担当。



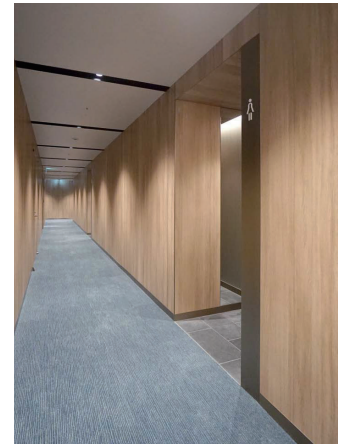
エントランス

“未来へのゲート”をイメージしたガラスボックスが、開放感を与えるメインエントランス。



アトリウム

地下鉄天神駅へと続くエレベーターのアトリウムには、現代美術作家によるパブリックアート作品が設置され、現代アートをさまざまな角度から楽しむことができる。



トイレ入口

オフィスフロアは、ホテルライクな洗練されたインテリアデザイン。通路から内部への視線に配慮したレイアウトのすっきりとした入口。シンプルで洗練されたデザインのオリジナルトイレサインを採用。



女性トイレ 全体

トイレの内装は、廊下からのつながりや内装との連動を図り木目調で統一した。特に女性トイレは、リフレッシュできる場所として、憩いや安らぎを感じられるように設計。飛沫対策も意識、各洗面にも仕切りを設けた。



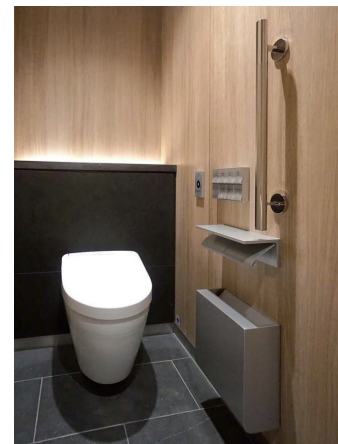
女性トイレ 洗面コーナー

2段のカウンターでドライエリアを設け、荷物の置き場所に配慮した洗面カウンター。非接触で利用できる自動水栓や水石せっけん供給栓、メンテナンス性に優れた電気温水器を採用している。



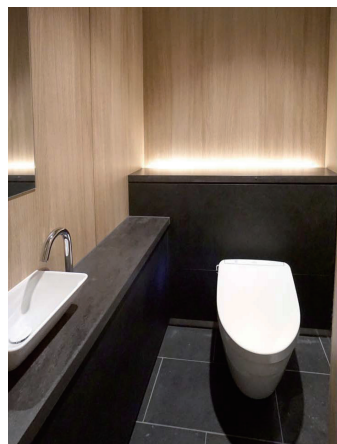
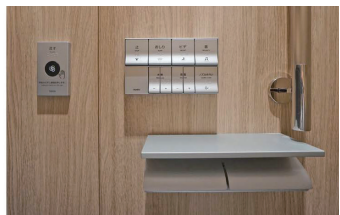
女性トイレ スタylingコーナー

顔映りのよい照明付きの鏡を設置。床から天井まである全身鏡は身だしなみチェックがしやすく、さらに空間に広がりを感じさせている。ここにも手洗い器を設置し、清潔な手で化粧直しができるように配慮している。



女性トイレ 大便器ブース

大便器ブースの間仕切り壁を天井まで立ち上げ、防犯対策を図るとともに個室感を高めている。アクセサリはつや消しの素材で統一。節電のために便ふたありの便座を採用している。



女性トイレ 非接触ブース

女性トイレのブース内2ヶ所を広めにし、そのうち1ブースはドア、洗浄ボタン、便ふたを非接触で操作できる非接触ブース。さらに手洗い器も設置し、用足してから手洗いまで一連の動作をブース内で完結できる。



男性トイレ 洗面コーナー

間接照明により、洗練された雰囲気醸し出している。プライバシー配慮および飛沫防止として各洗面に仕切り板を設置。



男性トイレ 菌みがきコーナー

男性トイレには、菌みがき器（菌みがき用ボウル）を設置。上向き吐水の水栓金具がセットされ、コップを使わずに口をゆすぐことができる高さに設置している。



男性トイレ 洗面コーナー

現在はペーパーボックスを設置しているが、将来的にハンドドライヤーを設置することを考慮した電気配線も施している。

天神ビジネスセンター



男性トイレ
小便器コーナー

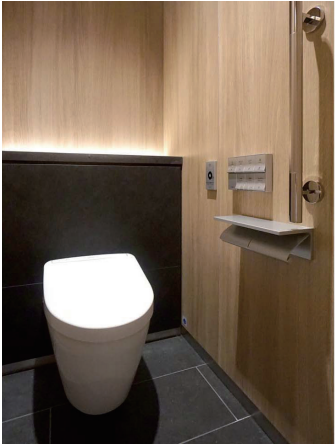


シンプルでスタイリッシュなデザインのマイクロ波センサー壁掛小便器を採用。小便器の間には、天井まで間仕切りを設置しプライバシー感を高め、さらに荷物配慮としてフックを設けている。



男性トイレ
大便器コーナー

将来的にも、テナントの男女比率にあわせて大便器ブースの数を調整できるように、大便器ブースの壁の一部を構造壁にし、男女トイレの間仕切壁の位置を変更できる仕組みになっている。



男性トイレ 大便器ブース

ライニングに照明を埋め込み、印象的な陰影を生み出している。オフィスフロアのホテルライクなインテリアデザインを踏襲し、シックで上質な空間を演出している。



男性トイレ 非接触ブース

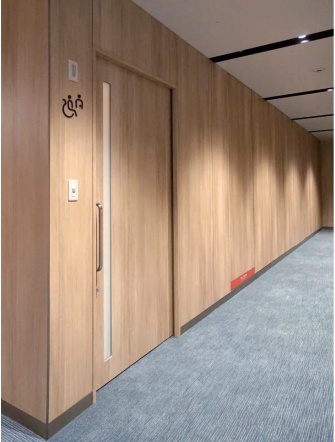


男性トイレは、ブースの内1ヶ所を非接触ブースとして設置。ドアの開閉から、洗浄ボタン、便ふたの開閉までを非接触で操作できるようにしている。



男性トイレ 非接触ブース

排せつ音を気にされる方や性的マイノリティへの配慮として、男性トイレにも音姫（トイレ用擬音装置）を採用。入室すると音が流れるように設定することで、特定の方の利用を意識させない工夫をしている。



バリアフリートイレ 入口

廊下の壁とあわせたデザインの入口ドアを採用することで、空間になじませている。ドアのスリットから空室判断が可能となっている。



バリアフリートイレ



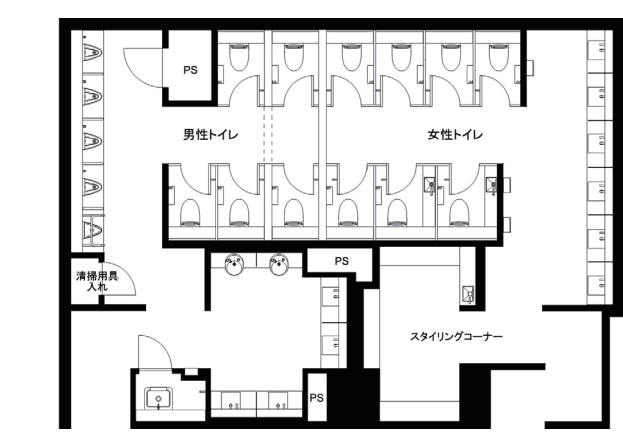
使いやすさと統一感のあるデザインが特長のフラットカウンター多機能ユニットを採用。多目的シートも設置し、さまざまな利用者に対応できる設備を完備。また手荷物配慮として、高さ違いのフックを設置した。



トイレサイン



一般の方が利用するフロアのサインは、視認性をよくするために男女で色分けをしているが、利用者が限られるオフィスフロアでは意匠性を重視して、あえてモノクロのデザインを採用している。



トイレ図面

飛沫防止、プライバシー配慮のため、各コーナーに仕切り板を設置。テナントの男女比率にあわせて大便器ブースの数を調整できるように、男女トイレの間仕切壁の位置を変更できる仕組みになっている。

水まわりの特長

建物の特徴

「天神ビジネスセンター」は、福岡のアジア拠点都市としての役割・機能を高め、新たな空間と雇用を創出することを目指した福岡市の再開発推進事業「天神ビッグバン」による規制緩和1号案件として2021（令和3）年9月に竣工した。福岡の中心部、福岡市営地下鉄空港線天神駅に直結する利便性と大規模免振構造や国内屈指のBCP性能を有し、最先端の感染症対策を施した、新しい天神のランドマークともなるオフィスビルである。通りに面する角のファサードを切り崩すようにデザインされ、空に向かって斜めにのびるガラス張りの外観が特徴で、建築デザインは福岡県出身で世界的建築家の重松象平氏、インテリアデザインはフランス出身で日本を拠点に世界各国で活躍するグエナエル・ニコラ氏が担当した。

トイレの特長

「換気・除菌・非接触」をキーワードに最先端の感染症対策を実施。トイレ空間においても、新しい生活様式を取り入れ、換気・除菌、飛沫防止対策をはじめ、非接触で利用できる自動水栓や自動水石けん供給栓、センサー式の便器洗浄リモコンを採用。さらに一部のブースは、ドア、洗浄ボタン、便ふたの開閉を非接触で操作できる、徹底した「非接触ブース」とした。また、バリアフリートイレを設置したり、性的マイノリティに配慮して男性トイレに音姫（トイレ用擬音装置）を設置するなど、多様化するオフィスワーカーへの配慮も充実。「選ばれるオフィス」として差別化を図っている。

建築概要

名称	天神ビジネスセンター
所在地	福岡県福岡市中央区天神1-10-20
施主	福岡地所株式会社
基本設計	株式会社日本設計
実施設計	前田建設株式会社
施工	前田建設株式会社
竣工年月	2021年9月
敷地面積	3,917.18㎡
建築面積	3,234.55㎡
延床面積	61,100.34㎡
構造・階数	鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造、一部コンクリート充填鋼管構造・地上19階、地下2階、塔屋2階

おもなTOTO使用機器

大便器ユニット:UTNCAB特
ウォシュレットアプリコットP(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5830系
ウォシュレットアプリコット:TCF4733系
棚付二連紙巻器:YH700AD
小便器ユニット:XPUTN特
洗面器ユニット:UTNLBC特
歯みがき器:L595
多機能ユニット:XPUTNDXD
収納式多目的シート:EWC520AR*系
インテリア・バー:YHR600M
化粧鏡:YMK52K
フック:YKH52AR
小便器用手すり:T115CU3R